

授業におけるマルチメディア機器の有効利用：ピアレビューに参加して

Utilization of the multimedia apparatus in the class: Participate in a peer review

日堂修

Osamu Hidoh

薬学教育研究センター

E-Mail: ohidoh@my-pharm.ac.jp

1. はじめに

薬学教育研究センターではFD活動の一環として、昨年、10月31日から12月2日まで、授業のピアレビューを行い、評価のとりまとめを行った。評価の対象は個々の教員の授業であるが、マルチメディア機器の利用に関してまとめた。

2. 評価項目

ピアレビューでは以下の 12 項目について、5段階評価を行った。

1. 授業内容がシラバスに沿っている。
2. 教科書を指定している場合、適切に使用している。
3. 教科書以外の教育媒体を適切に使用している。
4. 話は聞き取りやすい。
5. 進行の早さは適切である。
6. 興味を持たせるような工夫がある。
7. 学生の質問・発言等に適切に対応している。
8. 学生の理解度を確認している。
9. 他の授業科目との関連についてふれている。
10. 私語や不適切な行動に対して対応している。
11. 総合的にみて、わかりやすい授業である。
12. 熱意が感じられる授業である。

また、自由記述として、

- ・すぐれている点について記入して下さい。
- ・改善を要する点について記入して下さい。
- ・自分の授業にも取り入れたい点について記入して下さい。

の 3 項目を挙げた。

3. 授業評価結果

16 授業（実習講義を含む）について、延べ 43 人の評価者による全体の評価を点数化した。

表 1. 各評価項目の平均スコア

評価項目 (No.)	平均スコア
5	1.5
3	1.6
4	1.7
1	1.9
11	1.9
12	1.9
2	2.1
7	2.2
6	2.3
9	2.3
8	2.8
10	3.1

(1)強くそう思う (2)そう思う (3)どちらでもない
(4)そう思わない (5)全くそう思わない

表 1. に評価の高い順番に評価項目を挙げた。

4. 授業における教育媒体の利用状況

16 の授業について用いられている教育媒体を調べた (図 1-1, 2)。一番多く用いられている媒

体はマルチメディア機器であった。次いで、教科書、黒板、プリントの順であった。1 講義を除き、いずれも複数の教育媒体を使用していた。マルチメディア機器のみを使用している場合には、複数の機器を使用しており、すべての授業で複数の教育媒体を利用していた。

授業	1	2	3	4	5	6	7	8
教科書								
板書								
マルチメディア								
プリント								

図 1-1. 教育媒体の使用状況

授業	9	10	11	12	13	14	15	16
教科書								
黒板								
マルチメディア								
プリント								

図 1-2. 教育媒体の使用状況 (続き)

各 1 から 16 の授業について、使用している教育媒体を塗りつぶし、使用していない媒体は空欄とした。

5. マルチメディア機器の利用状況

マルチメディア機器を利用している 14 の授業について、どのような機器、ソフトを利用しているか調べた。すべての授業でパワーポイントを利用していた。ただし、機器、ソフトの間には関連している物もあり、便宜的に分けたものである。

授業	1	2	3	4	5	6	7
パワーポイント							
資料提示装置							
Web							
持込 PC							
AV							

図 2-1. マルチメディア機器の利用状況

授業	8	9	10	11	12	13	14
パワーポイント							
資料提示装置							
Web							
持込 PC							
AV							

図 2-2. マルチメディア機器の利用状況 (続き)

各 1 から 14 の授業について、使用している教育媒体を塗りつぶし、使用していない媒体は空欄とした。

6. まとめ

IT 教育環境が整備された本学の多くの授業では、マルチメディア機器が利用されていた。もちろん、これはマルチメディア機器を使わなくてはならないということではない。今回のピアレビューに見られる評価の中にも、従来の教科書、黒板中心の授業でも高い評価を得ていた授業もあった。しかし、各教室にはマルチメディア機器が準備されているのだから、これを有効に利用したいという意識の表れであろう。

ピアレビューに参加して、初めてみるマルチメディア機器の利用方もあり、取り入れたいと思うものもあった。今回の評価項目の中にマルチメディア機器に関する項目はなく、残念ながら、定量的にピアレビューをとりまとめることはできなかった。

マルチメディア機器のほとんどは、スクリーン上に写される。コンテンツの作成、利用にあたっては、あたりまえのことではあるが、教室内の学生の視線を意識することが必要である。スライドは、教室のすべての位置からわかりやすく見えるか。また、スクリーンを使うと一方的な話になりやすい。講義中、その後の学生の理解度の確認、復習にもマルチメディア機器は利用できる。

今回、マルチメディア機器の利用に関して感想的なまとめしかできなかったが、今後、マルチメディア機器利用による教育効果などを検証する必要性が確認された。